



第六回 支部総会開催される!

発行: 明治大学校友会
千葉県西部支部市川地域支部
〒272-0835 市川市中国分4-13-12
発行人: 行木 勝雄

平成22年5月16日(日)市川グランドホテルに於いて会員69名が参加し総会が開催された。総会は、伊与久副支部長の司会により、高梨幹事の開会の挨拶に続き行木支部長から、支部の組織と活動状況について報告された。来賓として、千葉県西部支部の猪瀬支部長、各地域支部長が出席され代表で猪瀬西部支部長より祝辞を頂いた。会則により、支部長が議長となり議事に入り、佐川副支部長から事業関係、滝口会計幹事から予算関係について報告がありすべて承認された。

また、役員の変更及び、新幹事の選出についても承認され就任した。引続き、新入会員の紹介をし、中村幹事の閉会の挨拶で総会は終了した。



続いて懇親会は、小菅副支部長の開会挨拶の後、伊神監査委員の乾杯でスタートした。来賓の各支部長(6地域支部)の挨拶をいただき歓談に入った。そして、各来賓の支部長も加わり参加者が各学部別に集まり記念写真の撮影が行われ親睦を深めた。アトラクションでは、よみがえれ青春「歌声広場」と題して、NPO寺子屋のご協力のより、参加者全員で、青春時代を思い出し、大いに歌い会場を盛り上げた。最後は、橋詰氏の指揮により参加者の全員による明治大学校歌を合唱し、阿部幹事の閉会の挨拶で第六回支部総会は終了しました。



第七回 市川地域支部総会の開催について

【平成23年度 第七回明大市川地域支部総会日程】

- [日時] 平成23年5月15日(日) 11:00~14:00
 - [場所] 市川グランドホテルに於いて 千葉県市川市市川1-3-18 (JR市川駅北口徒歩3分)
 - [次第] ・第一部 総会(11:00~12:00) ・第二部 懇親会(12:00~14:00)
- ※案内状を送付致しますので、ご返信の上ご参加を宜しくお願い致します。



第46回 全国校友山形大会



平成22年9月27日(日) 明治大学の創立者の一人である宮城浩蔵先生の生誕地であり、また、最近放映されたNHK大河ドラマ「天地人」の主人公直江兼続ゆかりの地であり、さらにアカデミー賞受賞映画「おくりびと」の舞台となった山形県の県民会館において全国から1,300名の校友が参加し全国校友山形大会が開催された。

大会は、ラグビーの横戸氏(平9.文卒)の旗手による大会旗の入場でスタートし、遠藤山形支部長から歓迎の挨拶があり、来賓、各役員を紹介の後に向殿校友会会長から、明治は一つ、オール明治で世界一をめざして行こう、と強い挨拶があった。大学から長堀理事長が、宮城浩蔵先生の功績に感銘を受けた、この教えをうけて世界にはばたく明治にしたい。納谷学長が、いまの明治は注目されているがもっと広い視野でみて活躍し、来年も受験者数ナンバーワンにしたい。と祝辞を述べられた。高

橋連合父母会々長の祝辞の後に吉村山形県知事から宮城浩蔵先生のふるさとでもあり明治大学とは密接な関係にあります、と祝辞があり、続いて市川山形市長、山本天童市長、佐藤山形県東京六大学代表から祝辞があった。最後に全国支部長を代表して玉井東京南部支部長から、来年の明治大学創立130周年事業を成功させたいとの挨拶があった。

記念講演では、歴史家、作家でもある加来耕三氏により「今こそ、明治大学創立者宮城浩蔵先生に学ぶ」と題してユーモアたっぷりに講演が行われた。会場を、パレスグランデールに移した懇親会は、二人の山伏が吹くほら貝の合図で始まり艶やかな衣装の舞妓により、紅はなをあしらった笠を手に花笠踊りが賑やかに披露され、和太鼓の音色が会場いっぱい響きわたった。会場に用意された日本一の「いも煮」も、あっという間に無くなるほどの盛況ぶりであった。来年開催の全国校友東京大会のPRの後に、参加者全員で校歌を大合唱して、山形大会は閉会いたしました。

交流と親睦を図る“新年の集い”を開催



昨年は、夏に“市川地域支部会員の暑気払い”を開催しましたが、今回は新年会ということで、更なる会員の交流と親睦を目的とした「新年の集い」を、平成23年2月6日(日)に前回と同じJR本八幡駅近くの「うえだ別館」にて開催しました。

総勢62名の参加のもと、伊与久副支部長の司会も滑らかに、支部長の挨拶の後、出席者で最年長の川辺氏(昭22.商卒)の乾杯の音頭で始まりました。

限られた時間でしたが、大いに食べて呑んで語ってのひと時を過ごし、恒例になった参加者が持ち寄った品物での抽選会や普段鍛えた咽喉をカラオケで披露する一幕もありました。最後に明治大学校歌を斉唱し、盛り上がりうちに閉会しました。



市川市民まつり参加レポート

平成22年11月6日(土)第35回市川市市民まつりに明大校友会市川地域支部として二度目の参加をいたしました。

前回平成19年第32回への参加はマンドリンクラブのチャリティコンサートの集客広報活動が出展の大きなテーマでしたが、今回は創立130周年を迎える明治大学を地域の皆さんに、もっと知って戴こうということと、市内に3,000余名在住しておられる校友の皆様により市民まつりを通じて校友会活動のPRをしようというのが、その狙いであった。昨年来、現役高校生の人気ナンバーワン大学、受験者数が早稲田を抜いて第一位とその名も高き母校明治の名を大いにPRしようという訳である。

当日は明大サポート・明大マートから調達したロゴ入りグッズの販売と、目玉企画として、ふだん神宮球場や国立競技場で目にする『明大スポーツ新聞』を無償配布した訳であるが、用意した1,600部の明大スポーツは、サッカーの長友選手、ゴルフの藺田選手、世界柔道無差別級チャンピオンの上川選手等々、著名選手が紙面トップを飾っていることもあり、お昼過ぎには完全消化。ロゴ入りグッズも、身内の方が明治大学にご縁のあるという多くのお客様に販売することが出来ました。

我々参加者は、学校名を染め抜いた法被を着用。参加ブースには明治大学の幟(のぼり)がはためき、CDラジカセからは、白雲なびく母校の校歌が高らかに鳴り響き、参加172団体の中でも大いにその存在感を発揮し、動員数17万人と言われる市民まつりにおいても、異色の参加団体としてその名を知らしめることが出来たと自負しております。



第35回市川市市民まつり会場にて



市川地域支部の役員異動及び、新入会員のご紹介！

【第6回 市川地域支部総会にて】

- ・日下幹事長、白坂副支部長辞任に伴う役員変更。
- ・佐川幹事長、高梨副支部長の両名が選出され承認された。
- ・右田、井上、湯浅、金子の4名が新たに幹事に就任した。

【新入会員の皆さま】

- | | |
|----------------|------------------|
| ・及川 慶治(S30 政経) | ・星野 隆 (S37 政経) |
| ・沖田 久信(S37 農学) | ・松宮 仁志(S39 工学) |
| ・吉住 宏子(S40 文学) | ・米山 功 (S41法学) |
| ・藤居 敏弘(S42 商学) | ・増田 文明(S43 商学) |
| ・中原 忠良(S46 経営) | ・尾形 友康(S50 文学) |
| ・市川 眞純(S58 経営) | ・大坪 恭也(H11 商学) |
| ・川村 祐依(H18 政経) | ・田中 幸太郎(H21 大学院) |
- 新たに入会され14名の方々です。





“市川市民として”

武士田 卓志 (昭和62年 法学部卒)

自分の人生の中で幼稚園、小学校と市川市で育ちましたが、中学校から明治大学を経て社会人の20年余りを東京都内で過ごし、生活の場が市川市にはありませんでした。そんな時、縁があり明治大学市川地域支部の幹事をやらせていただき、「いちかわボランティアパトロール」や「明大マンドリンクラブチャリティ演奏会」、「市川市民まつり」等、校友会を通して地域に貢献できることを喜びに感じている今日この頃です。

“我が母校を感じるのは！”

大越 信夫 (昭和45年 政経学部卒)

母校、明治大学を感じるのは、いろいろな機会に巡り合います。私の勤務先においては、千駿会という先輩、後輩が集う会がありますが、卒業して33年余継続しているのは、中野渡先生の産業心理学のゼミでの同期会(学ぶより遊びの方が多かったゼミ会)であります。毎年のホームカミングディには、母校に集合し、青森、四国の遠方より参集、還暦を過ぎた親父達が、あの時の青春に戻り学生時代より社会人になってからの事、等々、一次会、二次会と話の尽きない楽しい仲間つきあいが続いています。明治大学とのつながりの多くはゼミ会でありましたが、6年前に、突然、明治大学校友会市川地域支部を発足したいので参加して欲しいとの電話が入り参画の機会を得て、身近な地域で明治大学の仲間と交流できることを知り現在に至っております。母校への親しみが増々わく気持ちであります。これからも、諸先輩方々との交流が続けられ多くの同窓生が集うことを願い。明治大学校歌を歌い合う会を楽しみにしております。

“学生キャンプストアの思い出”

井上 喜久男 (昭和42年 経営学部卒)

学生時代は、広告研究部に所属し毎年メイン事業であったキャンプストア(海の喫茶店)を南房総の保田海岸で経営いたしました。1・2年次は一週間の参加で、3年次は経理責任者となり7・8月の二ヶ月間、常駐しました。森永製菓がスポンサーで店舗は建設していただき、人件費は合宿を兼ねますので無償で且つ食事代を徴収しましたので十分利益が出てクラブ活動に十分貢献できました。また、レジャー時代に入り海水浴場に多くの人が集まり、保田には企業の保養所等が多くあり、お客様が大変多くきました。当時、学生キャンプストアは人気があり、早稲田・慶応・立教・法政・青学が参加していました。スポンサーの森永製菓の指導を受けサンドイッチの作り方、コーヒーの入れ方等、森永キャンディストアで指導を受けました。文科系では珍しい二ヶ月の長期合宿のため同期の結束が強く、今でも同期会を毎年開いています。このキャンプストアも時代の変化には勝てず数年前に中止になってしまい。戦前から続いていた歴史が無くなり残念です。我が青春の思い出です。

“「音楽」零(こぼ)れ話”

阿部 晃 (昭和34年 経営学部卒)

「白い蝶のサンバ」ー“あなたに抱かれて私は蝶になる。ー

明治大学山紫会(さんしかい)ー昭和34年卒業の全学部の同期サークルがある。その中に作詞家・作家の阿久悠(昭和34年文学部卒、本名・深田公之)年一回開催の山紫会総会・懇親会に会の幹事が阿久悠の出席を促したところ、次回は出席すると約束してくれたが、生憎発病してしまい出席できないので、当日出席者会員にとちようど彼が前年(平成15年)に出版した「昭和おもちゃの箱」(阿久悠著-株扶桑社発刊)を一冊づつ届けられた。結局、その後入退院を繰り返すうちに平成19年8月永眠。(享年70歳)残念であった。届けられた著書「昭和のおもちゃ箱」の表紙を捲った遊びの頁に彼の直筆メッセージが書かれていた。(別添の通り。)

5,000曲以上の曲の作詞を手がけたヒットメーカーである。初めは広告代理店に勤務し、番組企画やCM製作等を手がけ、昭和40年フリーとなり本格的な文芸活動に入る。昭和45年、森山加代子の「白い蝶のサンバ」が爆発的にヒットし、それまでの歌謡曲のあり方をガラリと変えることになる。今までにない早口で捲くし立てるような、いわゆる破天荒な存在だといわれたり、歌謡界に波紋を投げかける事になる。その後はご存知のようにヒットが続くのであるが、紙面の都合で次回に譲る。



阿久悠様へ
 阿部晃
 2003.10.10

第8回 明治大学校友会 西部支部総会の開催について

【日時】 平成23年6月5日(日) 14:00~17:00
【場所】 三井ガーデンホテル 柏 に於いて
※詳細は、地域支部宛にお問合せ下さい。

みんなで、
参加しよう!

明治大学創立130周年記念 第47回全国校友東京大会のご案内

【日時】 平成23年11月3日(日) 文化の日
【場所】 明治大学アカデミーホール (式典&講演)
《懇親会》 帝国ホテル 孔雀の間
東京が、母校 明治大学が、お待ちしております。 ※詳細は、地域支部宛にお問合せ下さい。



紫紺の軌跡 (1)



東京六大学野球観戦記・私の野球年表から

大西 勇 (昭和41年 政経学部卒)

今年一月四日、古角俊郎氏(元新宮高校野球部監督)が、那智勝浦町のホテル浦島で同校野球部OB会、明大駿台倶楽部のメンバーから卒寿の祝福を受けたとのニュースを見て、野球小僧を自認してきた私には懐かしさと、嬉しさと、よかったなあ!との想いに駆られました。

昭和41年卒の自分の学生時代は、勉強や麻雀に勤しんで神宮の学生野球に殆ど興味、関心はありませんでしたが、授業休講の際、数人の友人と神宮球場に駆けつけ、応援席で仲間と肩を組み、校歌、応援歌を歌い、新聞紙を破っての紙吹雪など数回の観戦記憶があります。勿論、チアリーダーはなしでした。

そして楽しみ味わいつつも起ち上がったたり、座ったり慌しく、私の野球観戦には合わないと感じたものでした。在学中、野球部の優勝がなかったこと、なによりも家族、幼馴染から離れ、毎日が新鮮で刺激的で自分でやりたい事が沢山あつことが神宮の野球観戦・応援から遠のいていった大きな理由だったと思います。

再び神宮球場で学生野球観戦・きっかけ

平成3年の春のある休日、テレビで明治対法政戦を観戦。郷愁が蘇えり、翌週から神宮通いを開始。以来20年が経ち、昨秋で1,200試合余観戦。日数で640日以上になります。

印象に残る選手達(平成3年以降の選手)

柳沢裕一捕手(1993年)、中村 豊外野手(1995年)、川上憲伸投手(1997年)、一場靖弘投手(2004年)、変わり種として、ジョディハーラー、小林千紘投手など、またセンター大飛球を追ってジャンプ一番、自分がスタンドインした古沢選手も忘れられない選手の一人です。

20年前、現在、10年後の学生野球観戦

20年前、1万5千人前後の観客数だったのが現在8~9千人と1万人割れ、5割減が現状です。やはり野球人気の低落かなと寂しい想いもします。昨年までの直近の4年間は早大の斉藤投手で5千人増見当と考えますと今春以降は、観客増員施策をやつぎ早に打ち出すことが必須ではないかと思っています。

10年後の学生野球観戦を想像する。

父に高校野球観戦に連れられ、その際、球場入りする前岡投手に見惚れ、電柱に衝突したのは56年前。これから10年後、神宮球場に学生野球を孫を連れて観戦する自分を想像してみる・・・11歳の孫が付いてくる前提で・・・その時、神宮球場はドーム球場になっているのか?観客は多いのか?少ないのか?

間違いないのはその時、グラウンドでプレーしているのは今小学3~5年生が中心の筈である。今1歳の孫が小学5年生。小生は77歳。10年後の神宮球場、東京六大学野球観戦と自分の姿を自己中心的に想像してみるのも私には楽しいことであり、目標!?!にもなります。

ともあれ平成23年東京六大学野球春季リーグ戦は、4月9日開幕します。野村祐輔投手に期待!斉藤を越えろ!

応援するぞ!





紫紺の軌跡 (2)

我が青春に悔いなし

伊与久美子 (昭和42年 文学部卒)

人は年齢を重ねるごとに昔を懐かしみ、ことさら子供の頃や青春真っ只中の頃を思い浮かべては、しばし胸を熱くし思い出に浸る。そして今では考えられないほど純粋で可愛らしかった頃の自分を発見しては今の自分に重ね合わせ、悦に入っていることが間々ある。幸せの60代半ばをごく普通に生きている最近の私が、まさにその通りといえます。

あらためて、我が青春時代を振り返って見ると、それはレモンのようなミントのような恥じらいの香り豊かな、また一瞬一瞬を熱く燃える花火のような青春時代であったように思えます。(少々、美化しすぎかな?)

昭和38年、文学部史学地理学科に学ぶ18歳の私は、教職を自ら聖職と位置づけ、母校和洋女子高校の歴史の教師を目指して希望に燃え、ひたすら勉学に励んでいました。

憧れの考古学教授杉原荘介先生・大塚初重先生らを身近に感じ、古代史の遠藤元男先生のご指導の元に、物事の原点を探求し、物的検証と文献に基づく論理的検証によって古代史の真実を導き出していくという、壮大なロマンを描く喜びを学んでいました。授業の一環として奈良・京都を多く訪れ、特に斑鳩の里の平城京の発掘現場では、あまりの感動に腰が抜ける思いをしたことを、今でも鮮明に覚えています。

卒業論文のテーマを「下総国分寺の屋根瓦についての一考察」とし、自分の生まれ育った市川市の国分寺を中心に、学んだことの多さと、素晴らしい人たちとの出会いの多さは、私にとって何ものにも替えがたい価値ある財産となっています。

また、母校で教育実習期間の「先生」の経験は、「和魂洋才」を建学の精神とする和洋学園で過ごした中学・高校の6年間に加え、これまた今日の自分づくりの原点となっています。男女共同参画社会の今日にあっても、日本女性の決して失ってはいけない「しなやかな美しさ、したたかな美しさ」はこれからも守り伝えていかなければならないと今もなお強く願っているところです。

期するところあって、地域のおじさん・おばさんのお役に立てる市役所の職員となった私は、多くの素晴らしい人々との出会いの中で、日々学びと努力の地道な地方公務員を38年間務めました。その後も縁あって地域福祉の仕事をして今日に至っていますが、思えば、いつもいつも地域の方々と向かい合い語り合い、共に汗を流してきたような気がします。この間、輝かしい実績はなくとも、多くの人々に愛された自分自身に最大の誇りを感じている私です。

66歳になった今、青春の思い出に浸る時、ふっと横にいる夫にあらためて大きな存在感を感じます。青春真っ只中を、明大和泉校舎で、駿河台で、共に学び、共に喜び悩んだかけがいのない信友であった人。

その人との二人三脚の歩み、早や40年を過ぎました。我が青春に悔いなし!

麻雀同好会の発足について

この度、白坂 明氏を会長に選任し、麻雀同好会が発足しました。平成22年9月4日(土)には顔合わせを兼ねて、会員となった8名が参加し、打ち始め式を実施しました。ほとんどの会員が、牌を握るなか、和気藹々かつ丁々発止のやりとりを重ね、学生時代に戻ったような楽しい時間を過ごしました。ギャンブルではなく、健康麻雀として、これからも会員相互の親睦を第一に活動してまいります。

なお、現在の会員数は、女性1名を含め15名です。和気あいあいと楽しく遣っておりますので、皆様の入会を心よりお待ちしております。

【麻雀同好会の入会希望の方は下記にご連絡下さい】

- ・携帯電話 090-2213-4116
- ・メールアドレス akinac@nifty.com
- 中村 晃夫(昭和44年 商学部卒)迄

入会者募集中!



ボーリング同好会 囲碁同好会

立上げ計画中!

現在、ボーリング同好会 及び、
囲碁同好会の立上げを計画しています。
入会希望者を募集しておりますのでご連絡下さい。

《連絡先》

- ボーリング 井上 喜久男 (昭和42年 経営学部卒)迄
電話 047-325-1638
- 囲碁 鈴木 宣男 (昭和34年 政経学部卒)迄
電話 047-372-8819

カラオケ同好会について



カラオケ「歌なかま」にて

平成22年度は、例年の通り年間に四回例会を実施しました。例会の形式は、参加者がくじ引きで紅・白に分かれて歌い、その合計点で競い勝ったチームに商品を出す方式で行っていますが、今年度の例会の結果は次の通り「第16回例会 参加者13名＝赤組勝利、第17回 参加者18名＝赤組勝利、第18回 参加者18名＝白組勝利、第19回 参加者18名＝白組勝利」です。

歌合戦の後は、順次得意の歌、覚えたい歌等を自由に唄い最後に校歌を全員で唄い散会ということで実施しています。また、今年度より年間優秀者を表彰することにしました。結果は次の通り「最優秀賞＝小菅さん、二位＝月館さん・芹川さん、三位＝右田さん」でした。

平成23年度例会予定【平成23年3月13日、6月12日、9月11日、12月11日の各日曜日です。】 **※新規入会者を募集中!**

ゴルフ同好会について



【平成22年度ゴルフ同好会活動報告】

平成22年度のゴルフ同好活動状況を報告致します。今年度は、年4回(第一回<第13回・通期>・第二回<第14回>・第三回<第15回>・第四回<第16回>)のコンペを開催致しました。

平成23年度のゴルフ同好会の開催予定の日程は、下記の通りとなっておりますので、会員の方々は、ご予定に入れて下さい。

【平成23年度同好会コンペの開催(日程)予定】

- 《第1回》平成23年 4月15日(金)
- 《第2回》平成23年 7月 中旬
- 《第3回》平成23年 9月下旬～10月中旬
- 《第4回》平成23年11月 下旬

※皆様の入会参加をお待ちしております。

【平成22年度同好会コンペの成績】 敬称略

- 《第1回》平成22年 4月23日(金)
ジェイゴルフ霞ヶ浦に於いて (参加人数 12名)
優勝 伊与久 剛史 2位 高橋 一郎 3位 鈴木 宣男
- 《第2回》平成22年 7月16日(金)
習志野カントリークラブに於いて (参加人数 14名)
優勝 中村 欣治 2位 伊与久 剛史 3位 関 勝治
- 《第3回》平成22年10月 1日(金)
丸の内クラブに於いて (参加人数 15名)
優勝 山川 藤夫 2位 土橋 敏雄 3位 鶴岡 正雄
- 《第4回》平成22年11月26日(金)
CGPカントリークラブ(市原)に於いて (参加人数 12名)
優勝 内田 八郎 2位 地引 一則 3位 石川 守也

ハイキング同好会について



市川地域支部ハイキング同好会は、平成18年から年一回、1時間以内の近場の名所地など選り電車・バスも利用するハイキングを実施してきた。平成22年は、当初、全国有数の梨(なし)の生産を誇る市川・大町の観光なし園「大重園」でなし狩りを企画したが、予定していた9月28日の当日を含め三日間の雨天続き。同園の経営者から前日夜『雨天続きで、園内はぬかるみ入場者がなしの根をいためる恐れもある』と中止を要請され、宇賀山幹事と参加者に中止を連絡した。

同好会の事前計画が流れたのは初めてで、11月に入り、今年は『例会の中止もやむなし』と思ったところ、印南会長から北松戸の本土寺の紅葉は素晴らしく一見の価値あり、と会員に参加を呼びかけては、と連絡を受け24日に設定して案内したところ9人の参加となった。



北松戸の本土寺にて

当日は、午前11時に千代田線北小金駅集合。時間通り全員の顔がそろい駅北口の歩道橋を降りる。当日は風も弱く暖かい陽射しに恵まれた紅葉見物日和。道路を渡ると松や杉の大木が連なる参道。10分ほど歩くと台上に本堂が。仁王門から境内に入れば左に五重塔、右には諸堂が連なり寺内は舗装された回廊で結ばれ、約一万坪の起伏に富んだ地形にサクラ、カエデ、イチョウなど鮮やか趣き。七年前に再建された朱塗りの五重塔が鮮やかに際立っていた。同寺は、初夏のショウブとアジサイ、秋の紅葉が見どころの売り。期間限定で参道、境内のライトアップをしていたが、参道から少し抜けたレストランで食事をして駅に戻り、約三時間後に散会した。



編集雑記

今回で、第7号の発行となり、この度も多くの寄稿を頂き有難うございました。会員の皆様が満足されるような内容とならなかったことをご寛容下さい。次年度も会員の皆様のご協力、ご支援を頂けるようお願い申し上げます。

